

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 国語】

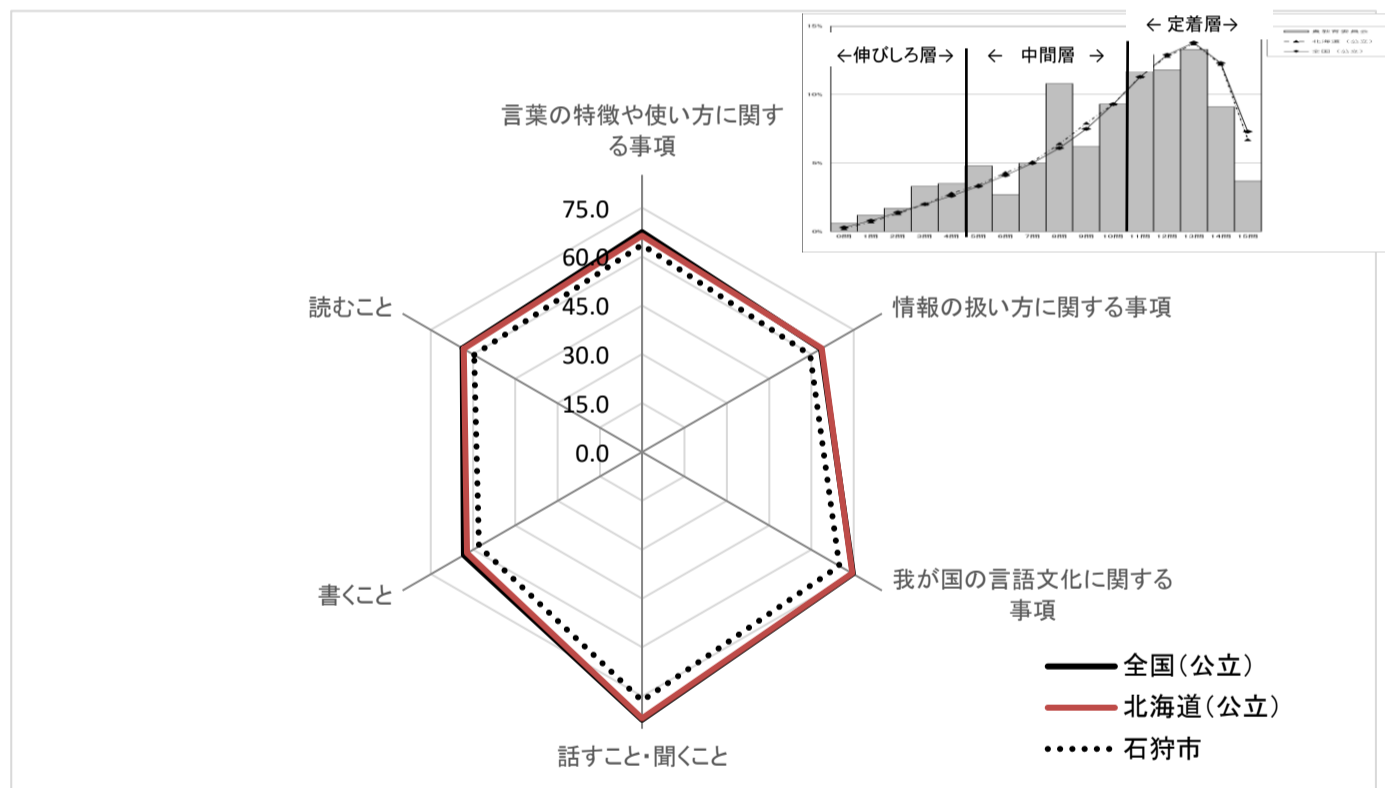
□ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.5問/15問	69.8%
全道(公立)	10.4問/15問	69.4%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○					☆		○		
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 国語科の概要 □

- ◇国語の正答率は全道・全国より、やや低い結果となりました。令和4年度との比較では、全国との差は縮まる結果になりました。
- ◇領域別では、「読むこと」の領域は全道・全国よりもやや低い結果でした。「話すこと・聞くこと」領域は全道・全国より低い結果でした。「書くこと」領域は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国よりもやや低く、「短答式」「記述式」は全道よりやや低く、全国より低い結果となりました。

国語

○調査問題の内容

学習指導要領に示されている次の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

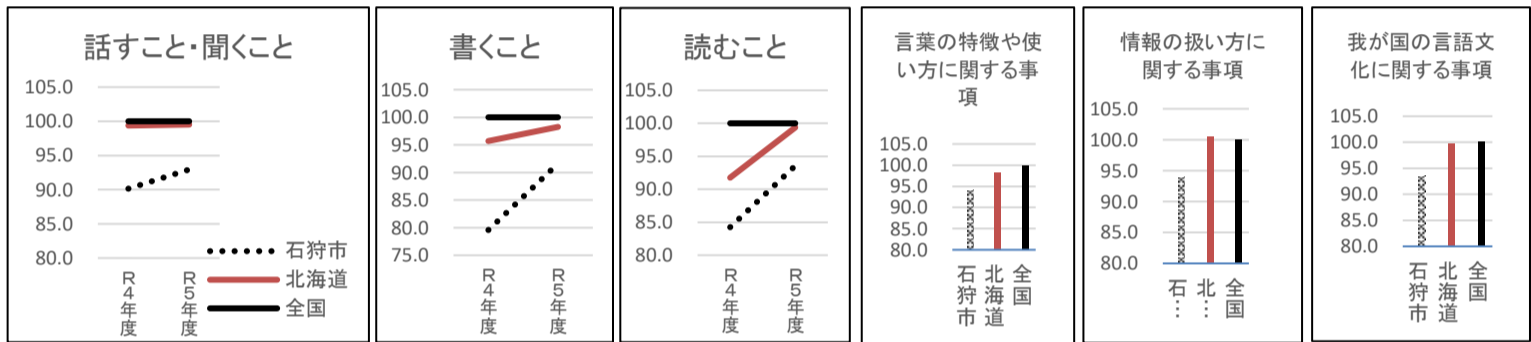
〔思考力、判断力、表現力等〕

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

(例)

- ・インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。
- ・読書に関する二つの文章を参考にして、これからどのように本を読んでいきたいかについて考え、読書に関する知識や経験に触れながら自分の考えを書く。
- ・「判じ絵」についてまとめているレポートの「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に示す具体例を選択し、その解説の仕方の説明を書く。
- ・古典の原文の中の語句に対応する言葉を、現代語で書かれた文章から抜き出す。
- ・問題数は15問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較（但し、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項は、本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は、全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・言葉の特徴や使い方に関する事項は、全道とほぼ同様（下位）、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・情報の扱い方に関する事項は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・我が国の言語文化に関する事項は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	85.5%	87.6%	87.5%
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	90.5%	91.8%	91.1%
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる	我が国の言語文化に関する事項	80.9%	82.5%	82.5%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3二	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	36.7%	41.1%	43.9%
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる	読むこと	44.8%	50.1%	50.0%

【指導の改善にあたって】

【問題番号3二 言葉の特徴や使い方に関する事項】

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり、書いたりすることができるように指導することが大切です。文章の中ばかりではなく、「話すこと・聞くこと」の学習の中や、他教科等の学習や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識できるように指導することが大切です。

【問題番号4三 読むこと】

生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむためには、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見いだすことができるように指導することが大切です。教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生などが楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考える学習活動も大切です。

【教科（国語）に関する意識（生徒質問紙項目47～54，国語1より）】

(47) 「国語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の61.4%、全国の63.2% に対して石狩市は、65.3% で全道より2.1ポイント、全国より3.9ポイント高くなっています。

(48) 「国語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の92.7%、全国の92.4% に対して石狩市は93.8% で、全道より1.1ポイント、全国より1.4ポイント高くなっています。

(49) 「国語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の81.4%、全国の80.0% に対して石狩市は79.7% と、全道より1.7ポイント、全国より0.3ポイント低くなっています。

(50) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は全道の88.9%、全国の88.7% に対して石狩市は89.7% で、全道より0.8ポイント、全国より1.0ポイント高くなっています。

(51) 「行書の基礎的な書き方を理解していますか」についての肯定的な回答は全道の66.4%、全国の67.2% に対して石狩市は65.8% で、全道より0.6ポイント、全国より1.4ポイント低くなっています。

(52) 「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか」についての肯定的な回答は全道の65.2%、全国の65.9% に対して石狩市は63.8% で、全道より1.4ポイント、全国より2.1ポイント低くなっています。

(53) 「国語の授業で、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか」についての肯定的な回答は全道の64.7%、全国の63.9% に対して石狩市は64.8% で、全道より0.1ポイント、全国より0.9ポイント高くなっています。

(54) 「国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか」についての肯定的な回答は全道の77.3%、全国の77.2% に対して石狩市は77.8% で、全道より0.5ポイント、全国より0.6ポイント高くなっています。

(国1) 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の73.5%、全国の74.3% に対して石狩市は70.5% と、全道より3.0ポイント、全国より3.8ポイント低くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の12.7%、全国の11.4%に対して石狩市は16.9%で、全道より4.2ポイント、全国より5.5ポイント高くなっています。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 数学】

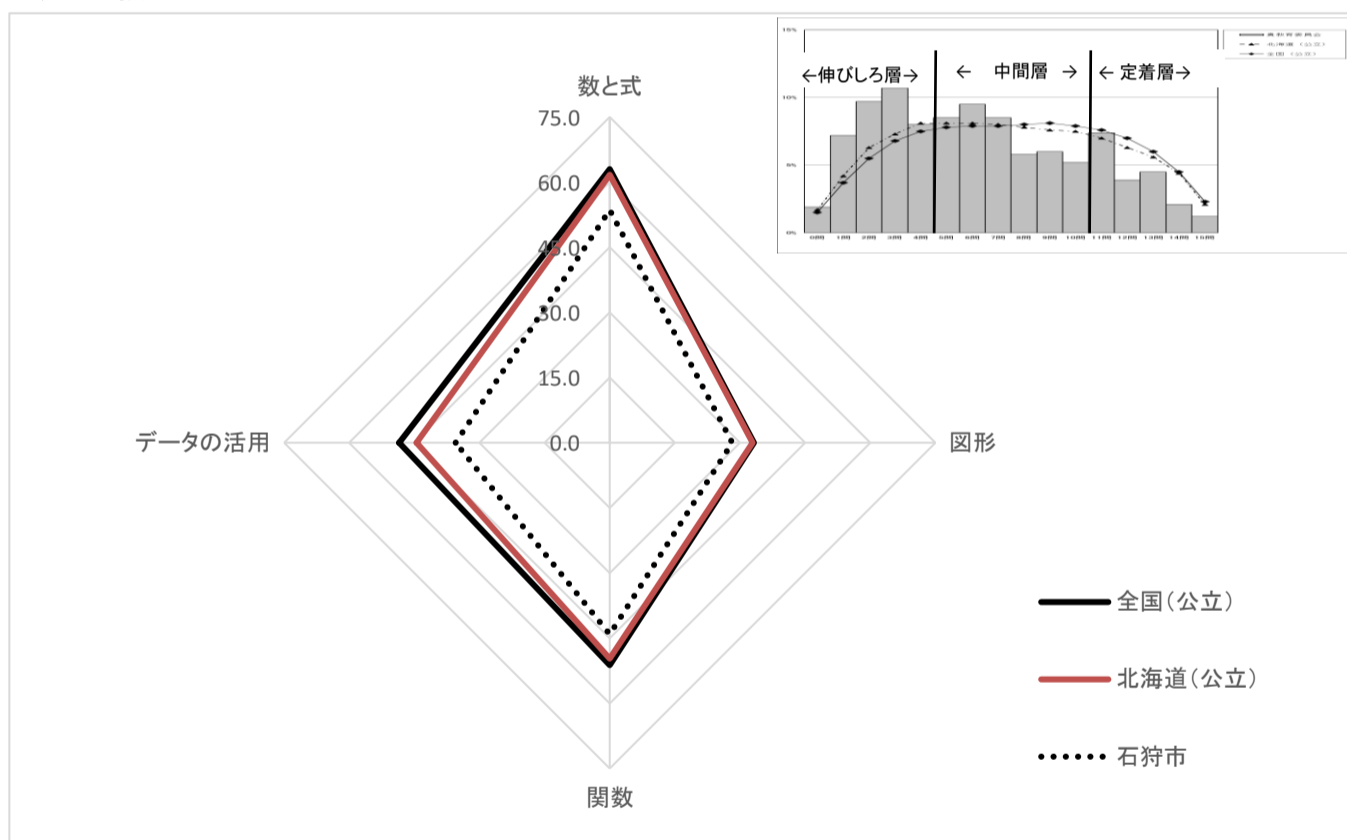
□ 正答率の状況 □

	数学	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	7.6問/15問	51.0%
全道(公立)	7.4問/15問	49.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆					○
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域等の平均正答率の状況 □



□ 数学科の概要 □

- ◇数学の平均正答率は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。令和4年度との比較では、全国との差は縮まる結果になりました。
- ◇領域別では、「数と式」「データの活用」は全道・全国より相当低い結果でした。「図形」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。「関数」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別では、「選択式」「短答式」は全道・全国より相当低い結果でした。「記述式」は全道よりやや低く、全国より相当低い結果でした。

数学

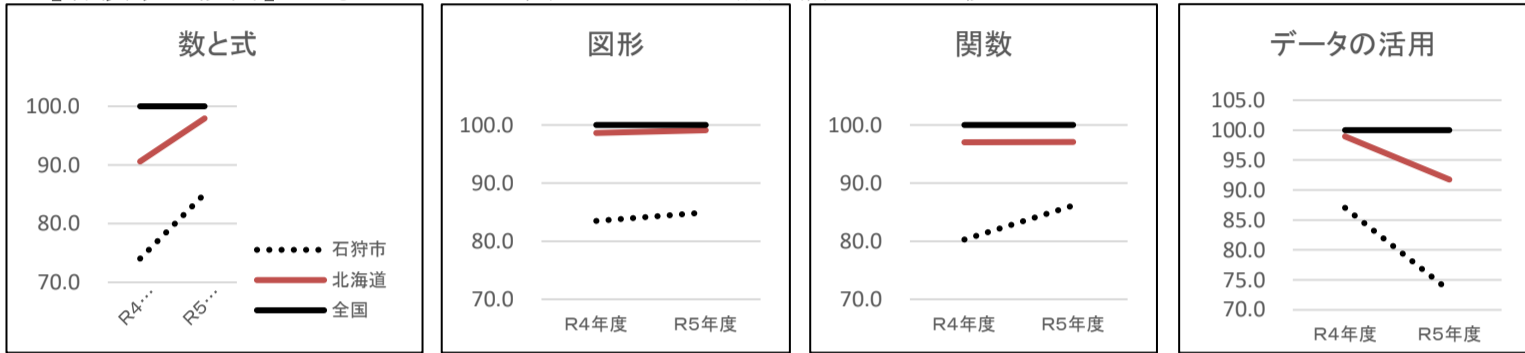
○調査問題の内容

学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・ -5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ。
- ・ 二つの直線が平行になることを、三角形の合同を基にして証明する。
- ・ 駅伝で、後からスタートした新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつく地点を求める方法を、グラフや式を用いて説明する。
- ・ 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあると主張することができる理由を、二つの箱ひげ図の箱に着目して説明する。
- ・ 問題数は15問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・ 「数と式」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「図形」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・ 「関数」の領域は、全道より低く、全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「データの活用」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	数と式	69.5%	79.7%	80.5%
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	数と式	84.9%	88.1%	88.9%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる	数と式	24.3%	30.6%	30.4%
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用	28.5%	39.4%	46.1%
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	データの活用	23.7%	31.5%	33.6%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
6 (3)	はじめの数にかけるといくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいくつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	数と式	33.4%	37.3%	37.5%	28.1%	40.9%	24.7%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号3 数と式】 図形の性質を考察する場面では、空間における直線や平面の位置関係を捉えることが大切です。この設問では、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解できるように指導することが大切です。</p> <p>【問題番号5 データの活用】 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面では、度数分布表やヒストグラムを作成し、データの特徴や分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるように指導することが大切です。累積度数は、度数分布表やヒストグラムを用いてデータの傾向を読み取る際に必要であることを指導することが大切です。</p> <p>【問題番号6 (3) 数と式】 数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること、さらに、問題解決の過程や結果を振り返り、事象の特徴を的確に捉えることができるように指導することが大切です。</p> <p>【問題番号7 (2) データの活用】 日常生活や社会の事象を考察する場面では、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、批判的に考察し判断することが求められる場合がある。その際、判断の理由を数学的に説明することができるように指導することが大切です。この設問では、データを表や箱ひげ図に整理して分析し、それらから傾向を読み取ることができるように指導することが大切です。</p>

【教科（数学）に関する意識（生徒質問紙項目55～58、数学1より）】

<p>(55) 「数学の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の54.3%、全国の56.7% に対して石狩市は、51.9%で全道より2.4ポイント、全国より4.8ポイント低くなっています。</p>
<p>(56) 「数学の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の84.2%、全国の85.0% に対して石狩市は84.1% で、全道より0.1ポイント、全国より0.9ポイント低くなっています。</p>
<p>(57) 「数学の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の71.3%、全国の73.3% に対して石狩市は62.7% と、全道より8.6ポイント、全国より10.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(58) 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の74.7%、全国の75.8% に対して石狩市は72.2% で、全道より2.5ポイント、全国より3.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(数1) 「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の54.4%、全国の57.1% に対して石狩市は46.8%と、全道より7.6ポイント、全国より10.3ポイント低くなっています。関連して、5問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の21.7%、全国の19.2%に対して石狩市は29.4%で、全道より7.8ポイント、全国より10.2ポイント高くなっています。</p>

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 英語】

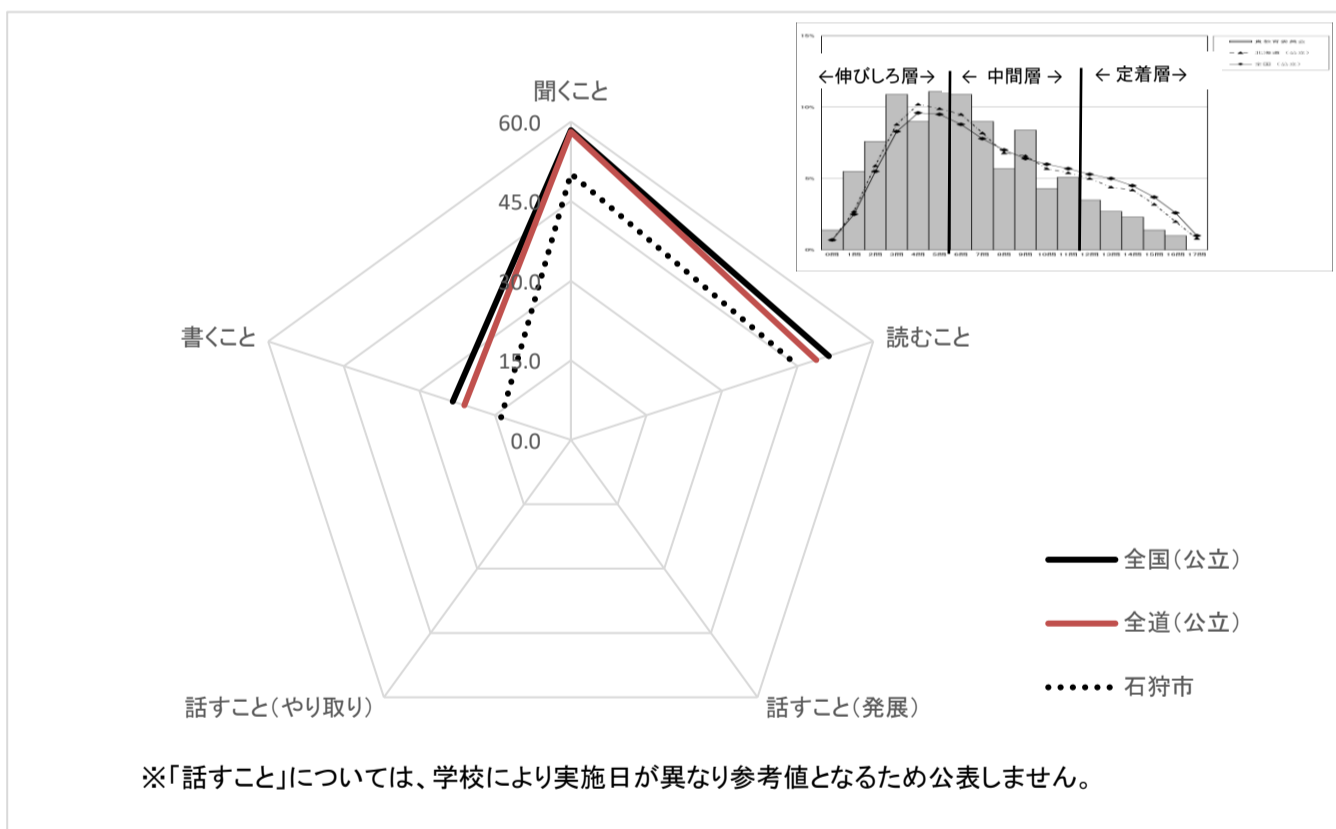
□ 正答率の状況 □

	英語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	7.7問/17問	45.6%
全道(公立)	7.5問/17問	43.9%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆					○
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 英語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 英語の概要 □

- ◇英語の平均正答率は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。平成31年度との比較では、全国との差は広がる結果になりました。
- ◇領域別では、「聞くこと」の領域は全道・全国より相当低い結果でした。「読むこと」の領域は全道よりやや低く、全国よりは低い結果でした。「書くこと」の領域は全国・全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別では、「選択式」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。「短答式」は全道・全国より相当低く、「記述式」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。

英語

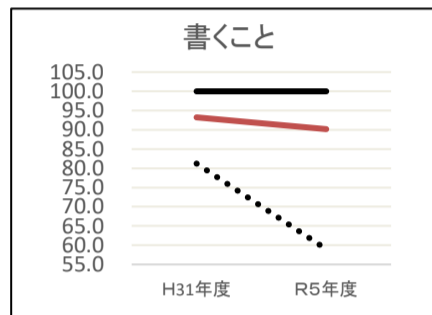
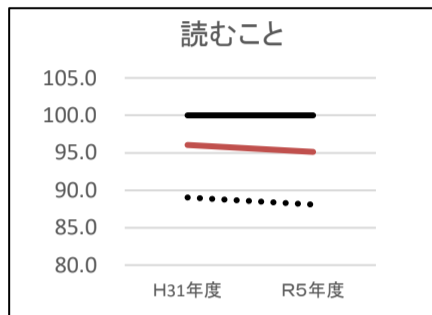
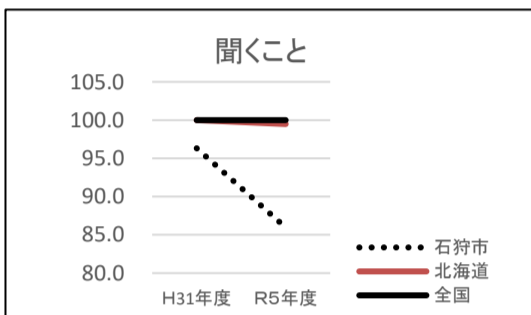
○調査問題の内容

学習指導要領に示されている5つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」）別の目標及び内容に基づき、全ての領域からバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る
- ・文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える
- ・短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く
- ・即興で伝え合うとともに、考えとその理由を述べ合う
- ・説明を聞いて、考えとその理由を話す
- ・問題数は17問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・「聞くこと」の領域は、全道・全国より相当低いを示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	聞くこと	63.7%	77.6%	79.0%
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	読むこと	64.7%	58.2%	59.8%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くこと	11.7%	17.2%	19.5%
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる	書くこと	9.4%	15.6%	20.9%
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	書くこと	2.3%	6.3%	7.4%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くこと	11.7%	41.9%	17.2%	33.1%	19.5%	29.3%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号8 (2) 書くこと】 読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが大切です。指導に当たっては、教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動が考えられます。</p> <p>【問題番号9 (1) 書くこと】 疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく活用できるまでには、教師が用意した質問で言語活動を始めるのではなく、生徒自身が教師や外国語指導助手 (ALT) に質問する場面や生徒同士で質問し合う場面を設定したり、自分が質問したことを書き出して正しく書くことができているか確認したりするなど、適宜正確さを高める指導することが大切です。</p> <p>【問題番号10 書くこと】 テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことが大切です。指導に当たっては、学校生活や家庭生活における出来事について、電子メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりする文章を書く活動が考えられます。</p>

【教科 (英語) に関する意識 (生徒質問紙項目59~72, 英1, 話1より)】

<p>(59) 「英語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の49.6%、全国の51.9% に対して石狩市は、49.6%で全道と同様で、全国より2.3ポイント低くなっています。</p>
<p>(60) 「英語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の85.2%、全国の88.0% に対して石狩市は83.3% で、全道より1.9ポイント、全国より4.7ポイント低くなっています。</p>
<p>(61) 「英語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の60.8%、全国の63.9% に対して石狩市は55.7% と、全道より5.1ポイント、全国より8.2ポイント低くなっています。</p>
<p>(62) 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の85.0%、全国の87.5% に対して石狩市は82.5% で、全道より2.5ポイント低く、全国より5.0ポイント低くなっています。</p>
<p>(63) 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の33.6%、全国の36.7% に対して石狩市は31.1% で、全道より2.5ポイント、全国より5.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(64) 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」についての肯定的な回答は、全道の26.1%、全国の30.0% に対して石狩市は21.8%と、全道より4.3ポイント、全国より8.2ポイント低くなっています。</p>
<p>(65) 「家庭学習の課題 (宿題) として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか」についての週1回以上という回答は、全道の22.3%、全国の22.9% に対して石狩市は15.8%と、全道より6.5ポイント、全国より7.1ポイント低くなっています。</p>
<p>(66) 「1・2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の77.9%、全国の78.2% に対して石狩市は76.3%と、全道より1.6ポイント、全国より1.9ポイント低くなっています。</p>
<p>(67) 「1・2年生のときに受けた授業では、英語を読んで (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の80.0%、全国の80.3% に対して石狩市は78.8%と、全道より1.2ポイント、全国より1.5ポイント低くなっています。</p>

(68)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちをなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の60.3%、全国の63.8%に対して石狩市は49.3%と、全道より11.0ポイント、全国より14.5ポイント低くなっています。</p>
(69)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の74.3%、全国の78.7%に対して石狩市は69.1%と、全道より5.2ポイント、全国より9.6ポイント低くなっています。</p>
(70)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の80.8%、全国の82.8%に対して石狩市は77.8%と、全道より3.0ポイント、全国より5.0ポイント低くなっています。</p>
(71)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の78.9%、全国の80.7%に対して石狩市は72.2%と、全道より6.7ポイント、全国より8.5ポイント低くなっています。</p>
(72)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の76.9%、全国の79.3%に対して石狩市は74.0%と、全道より2.9ポイント、全国より5.3ポイント低くなっています。</p>
英(1)	<p>「今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」について、「書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ」との回答は、全道の19.2%、全国の22.2%に対して石狩市は17.2%と、全道より2.0ポイント、全国より5.0ポイント低くなっています。関連して、2問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の29.5%、全国の25.4%に対して石狩市は36.6%で、全道より7.1ポイント、全国より11.2ポイント高くなっています。</p>
話(1)	<p>「今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」について、「聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ」との回答は、全道の4.6%、全国の6.0%に対して石狩市は3.1%と、全道より1.5ポイント、全国より2.9ポイント低くなっています。</p>

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 国語】

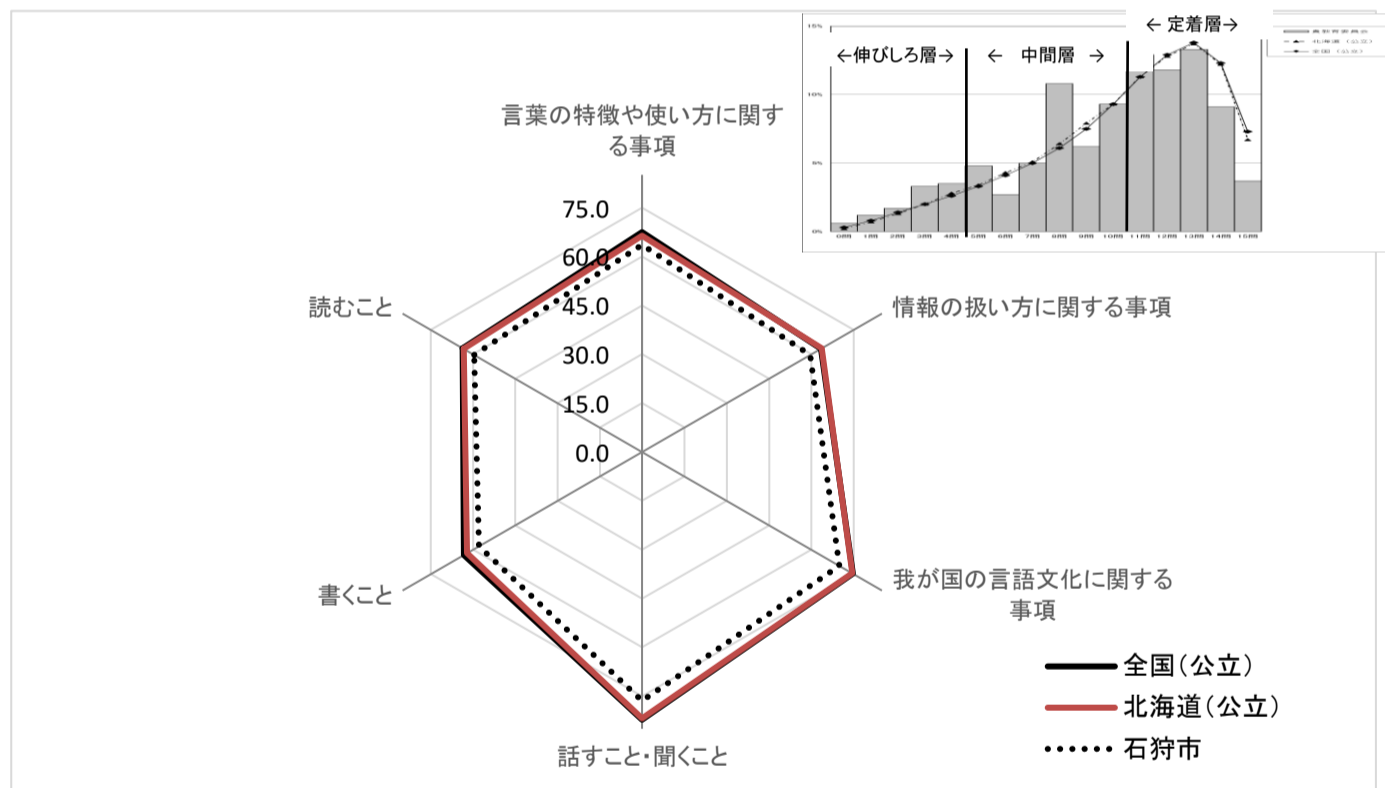
□ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	10.5問/15問	69.8%
全道(公立)	10.4問/15問	69.4%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○					☆		○		
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 国語科の概要 □

- ◇国語の正答率は全道・全国より、やや低い結果となりました。令和4年度との比較では、全国との差は縮まる結果になりました。
- ◇領域別では、「読むこと」の領域は全道・全国よりもやや低い結果でした。「話すこと・聞くこと」領域は全道・全国より低い結果でした。「書くこと」領域は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国よりもやや低く、「短答式」「記述式」は全道よりやや低く、全国より低い結果となりました。

国語

○調査問題の内容

学習指導要領に示されている次の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

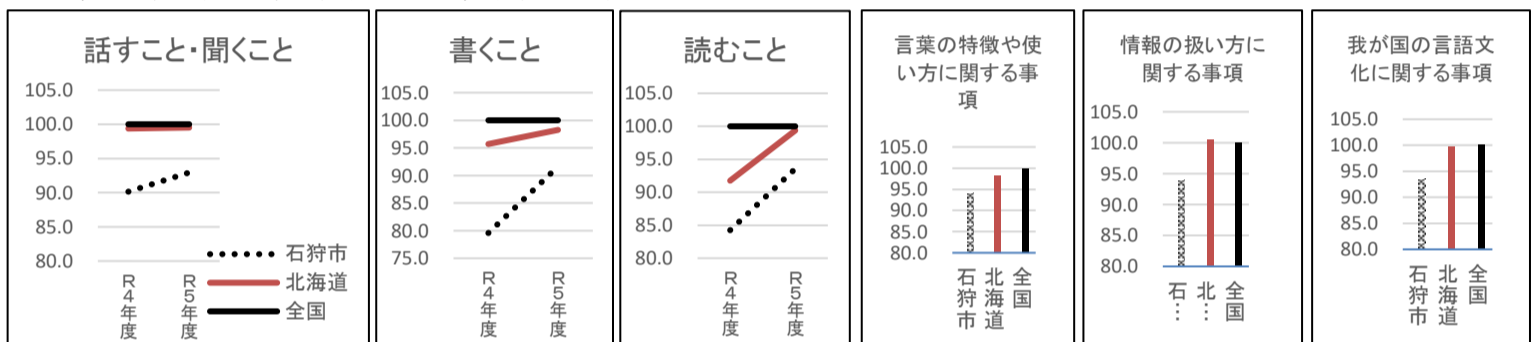
〔思考力、判断力、表現力等〕

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

(例)

- ・インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。
 - ・読書に関する二つの文章を参考にして、これからどのように本を読んでいきたいかについて考え、読書に関する知識や経験に触れながら自分の考えを書く。
 - ・「判じ絵」についてまとめているレポートの「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に示す具体例を選択し、その解説の仕方の説明を書く。
 - ・古典の原文の中の語句に対応する言葉を、現代語で書かれた文章から抜き出す。
- ・問題数は15問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較（但し、言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項は、本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は、全道・全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・言葉の特徴や使い方に関する事項は、全道とほぼ同様（下位）、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・情報の扱い方に関する事項は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・我が国の言語文化に関する事項は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	85.5%	87.6%	87.5%
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	90.5%	91.8%	91.1%
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる	我が国の言語文化に関する事項	80.9%	82.5%	82.5%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3二	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	36.7%	41.1%	43.9%
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる	読むこと	44.8%	50.1%	50.0%

【指導の改善にあたって】

【問題番号3二 言葉の特徴や使い方に関する事項】

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり、書いたりすることができるように指導することが大切です。文章の中ばかりではなく、「話すこと・聞くこと」の学習の中や、他教科等の学習や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識できるように指導することが大切です。

【問題番号4三 読むこと】

生徒が古典との距離を縮め、古典の世界に親しむためには、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見いだすことができるように指導することが大切です。教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生などが楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考える学習活動も大切です。

【教科（国語）に関する意識（生徒質問紙項目47～54，国語1より）】

(47) 「国語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の61.4%、全国の63.2% に対して石狩市は、65.3% で全道より2.1ポイント、全国より3.9ポイント高くなっています。

(48) 「国語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の92.7%、全国の92.4% に対して石狩市は93.8% で、全道より1.1ポイント、全国より1.4ポイント高くなっています。

(49) 「国語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の81.4%、全国の80.0% に対して石狩市は79.7% と、全道より1.7ポイント、全国より0.3ポイント低くなっています。

(50) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は全道の88.9%、全国の88.7% に対して石狩市は89.7% で、全道より0.8ポイント、全国より1.0ポイント高くなっています。

(51) 「行書の基礎的な書き方を理解していますか」についての肯定的な回答は全道の66.4%、全国の67.2% に対して石狩市は65.8% で、全道より0.6ポイント、全国より1.4ポイント低くなっています。

(52) 「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか」についての肯定的な回答は全道の65.2%、全国の65.9% に対して石狩市は63.8% で、全道より1.4ポイント、全国より2.1ポイント低くなっています。

(53) 「国語の授業で、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか」についての肯定的な回答は全道の64.7%、全国の63.9% に対して石狩市は64.8% で、全道より0.1ポイント、全国より0.9ポイント高くなっています。

(54) 「国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか」についての肯定的な回答は全道の77.3%、全国の77.2% に対して石狩市は77.8% で、全道より0.5ポイント、全国より0.6ポイント高くなっています。

(国1) 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の73.5%、全国の74.3% に対して石狩市は70.5% と、全道より3.0ポイント、全国より3.8ポイント低くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の12.7%、全国の11.4%に対して石狩市は16.9%で、全道より4.2ポイント、全国より5.5ポイント高くなっています。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 数学】

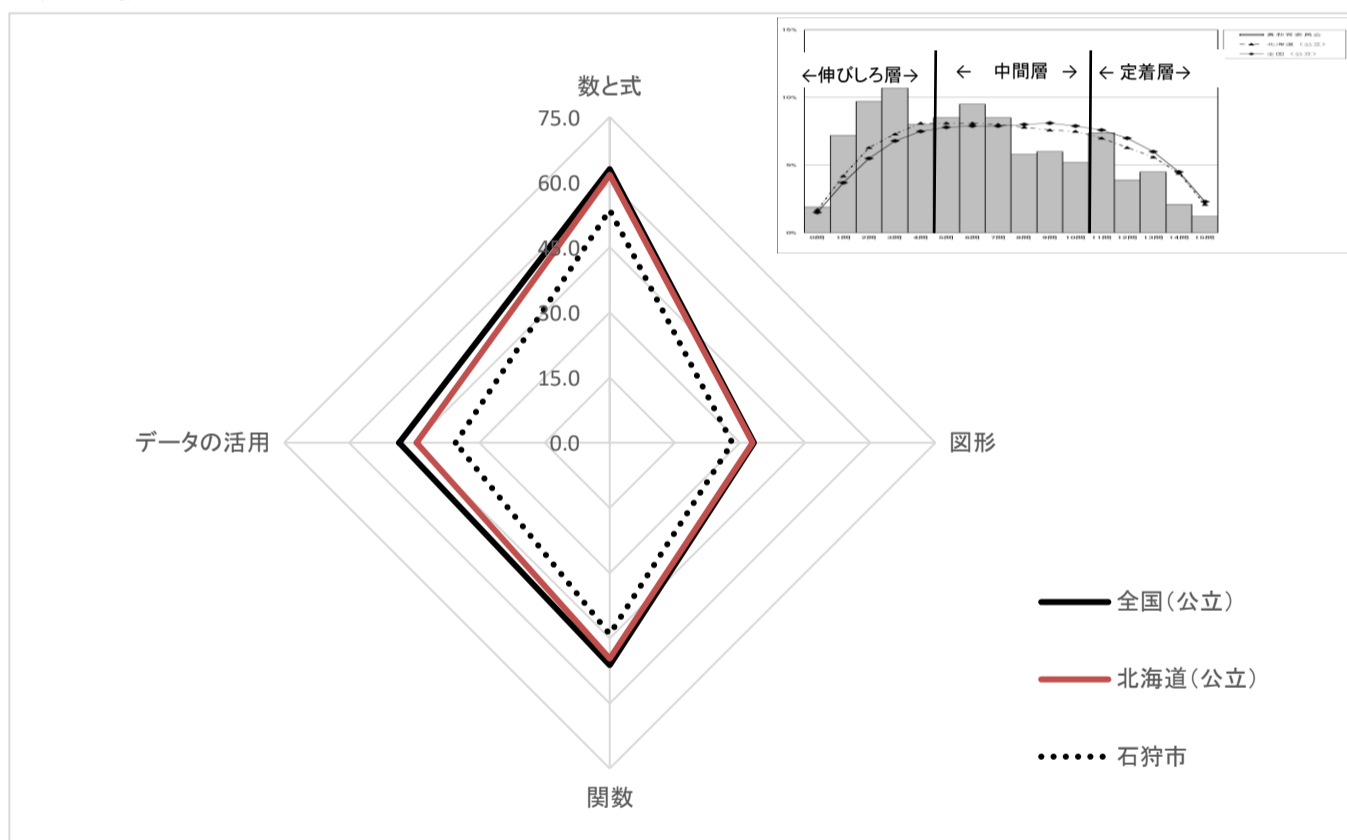
□ 正答率の状況 □

	数学	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	7.6問/15問	51.0%
全道(公立)	7.4問/15問	49.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆					○
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域等の平均正答率の状況 □



□ 数学科の概要 □

- ◇数学の平均正答率は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。令和4年度との比較では、全国との差は縮まる結果になりました。
- ◇領域別では、「数と式」「データの活用」は全道・全国より相当低い結果でした。「図形」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。「関数」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別では、「選択式」「短答式」は全道・全国より相当低い結果でした。「記述式」は全道よりやや低く、全国より相当低い結果でした。

数学

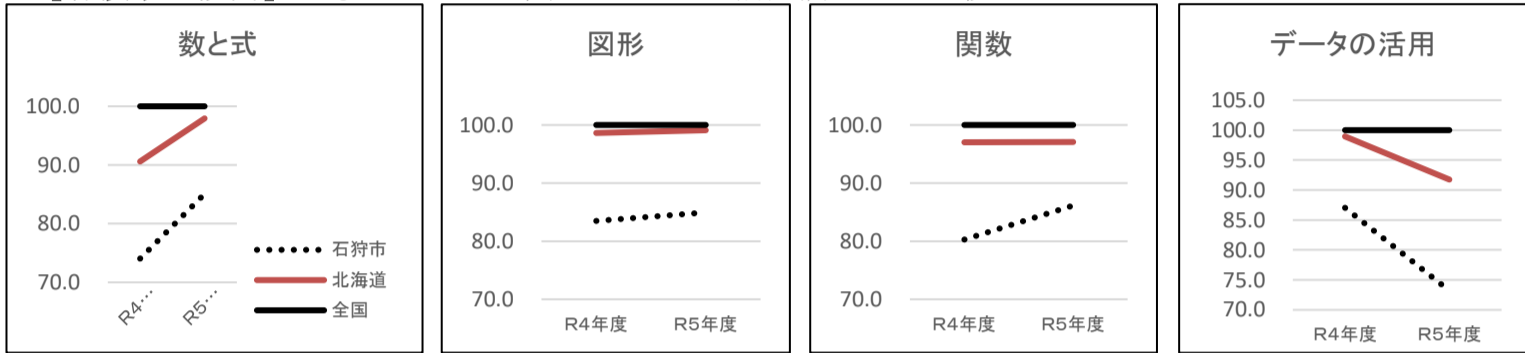
○調査問題の内容

学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・ -5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ。
- ・ 二つの直線が平行になることを、三角形の合同を基にして証明する。
- ・ 駅伝で、後からスタートした新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつく地点を求める方法を、グラフや式を用いて説明する。
- ・ 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあると主張することができる理由を、二つの箱ひげ図の箱に着目して説明する。
- ・ 問題数は15問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・ 「数と式」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「図形」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・ 「関数」の領域は、全道より低く、全国より相当低い傾向を示しています。
- ・ 「データの活用」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	数と式	69.5%	79.7%	80.5%
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	数と式	84.9%	88.1%	88.9%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる	数と式	24.3%	30.6%	30.4%
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる	データの活用	28.5%	39.4%	46.1%
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	データの活用	23.7%	31.5%	33.6%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
6 (3)	はじめの数にかけるといくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいくつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	数と式	33.4%	37.3%	37.5%	28.1%	40.9%	24.7%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号3 数と式】 図形の性質を考察する場面では、空間における直線や平面の位置関係を捉えることが大切です。この設問では、空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解できるように指導することが大切です。</p> <p>【問題番号5 データの活用】 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面では、度数分布表やヒストグラムを作成し、データの特徴や分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるように指導することが大切です。累積度数は、度数分布表やヒストグラムを用いてデータの傾向を読み取る際に必要であることを指導することが大切です。</p> <p>【問題番号6 (3) 数と式】 数に関する事象を考察する場面では、成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明すること、さらに、問題解決の過程や結果を振り返り、事象の特徴を的確に捉えることができるように指導することが大切です。</p> <p>【問題番号7 (2) データの活用】 日常生活や社会の事象を考察する場面では、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、批判的に考察し判断することが求められる場合がある。その際、判断の理由を数学的に説明することができるように指導することが大切です。この設問では、データを表や箱ひげ図に整理して分析し、それらから傾向を読み取ることができるように指導することが大切です。</p>

【教科（数学）に関する意識（生徒質問紙項目55～58、数学1より）】

<p>(55) 「数学の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の54.3%、全国の56.7% に対して石狩市は、51.9% で全道より2.4ポイント、全国より4.8ポイント低くなっています。</p>
<p>(56) 「数学の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の84.2%、全国の85.0% に対して石狩市は84.1% で、全道より0.1ポイント、全国より0.9ポイント低くなっています。</p>
<p>(57) 「数学の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の71.3%、全国の73.3% に対して石狩市は62.7% と、全道より8.6ポイント、全国より10.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(58) 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の74.7%、全国の75.8% に対して石狩市は72.2% で、全道より2.5ポイント、全国より3.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(数1) 「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の54.4%、全国の57.1% に対して石狩市は46.8%と、全道より7.6ポイント、全国より10.3ポイント低くなっています。関連して、5問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の21.7%、全国の19.2%に対して石狩市は29.4%で、全道より7.8ポイント、全国より10.2ポイント高くなっています。</p>

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 英語】

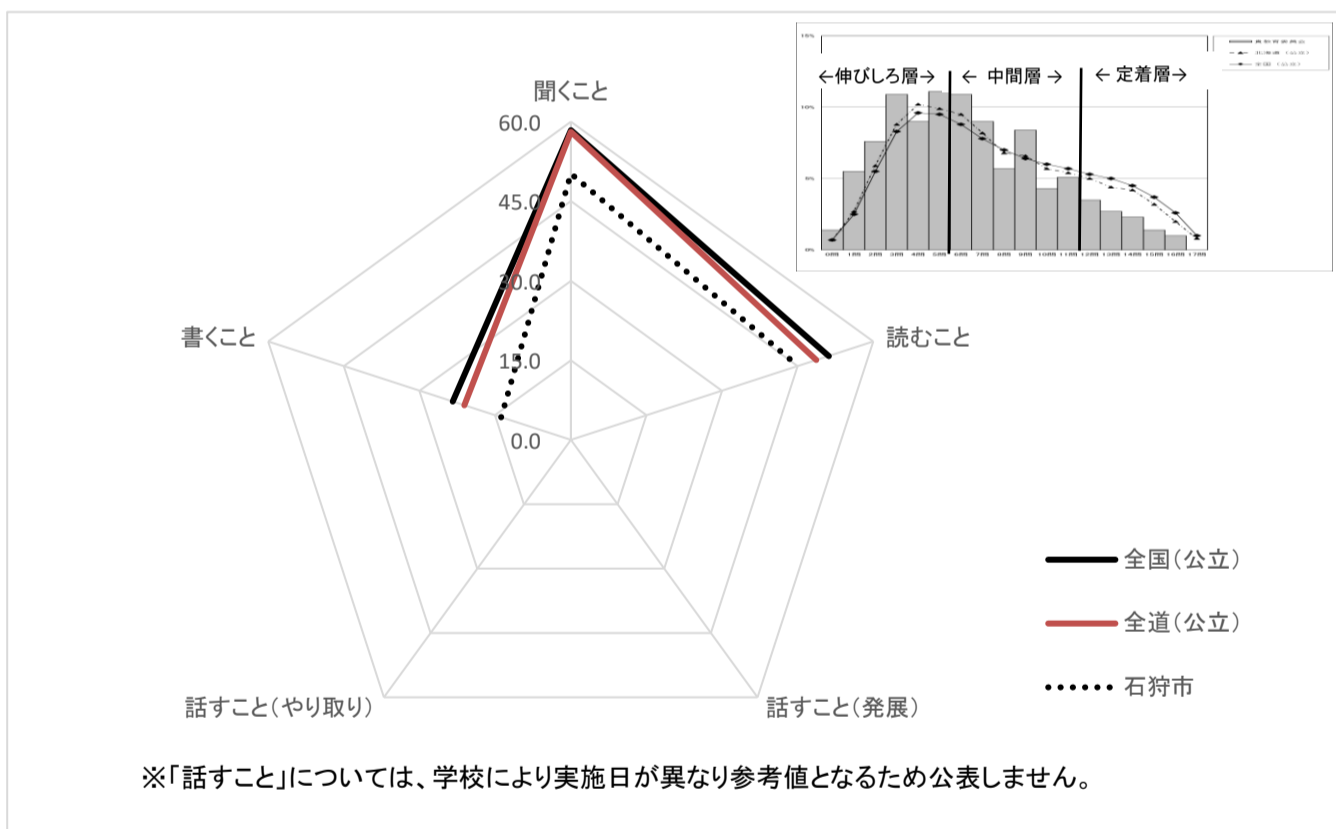
□ 正答率の状況 □

	英語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	7.7問/17問	45.6%
全道(公立)	7.5問/17問	43.9%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆					○
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 英語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 英語の概要 □

- ◇英語の平均正答率は、全道より低く、全国より相当低い結果でした。平成31年度との比較では、全国との差は広がる結果になりました。
- ◇領域別では、「聞くこと」の領域は全道・全国より相当低い結果でした。「読むこと」の領域は全道よりやや低く、全国よりは低い結果でした。「書くこと」の領域は全国・全国より相当低い結果でした。
- ◇問題形式別では、「選択式」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。「短答式」は全道・全国より相当低く、「記述式」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。

英語

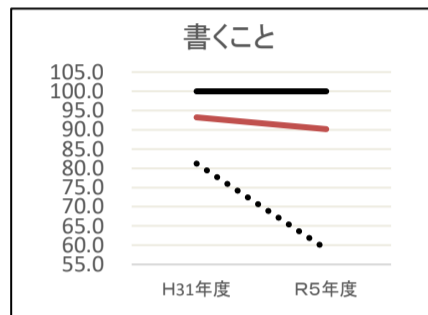
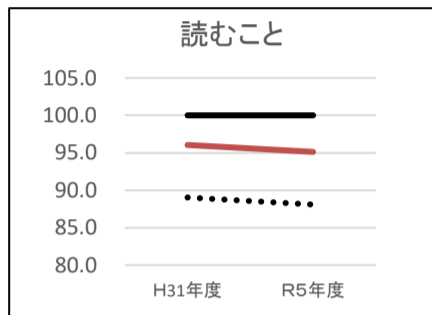
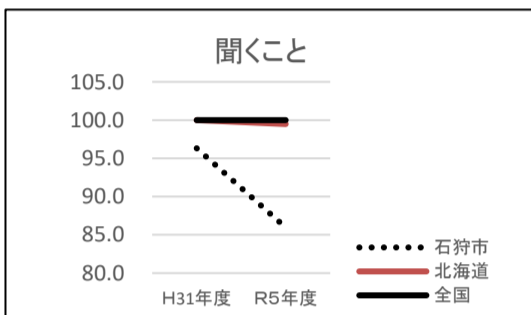
○調査問題の内容

学習指導要領に示されている5つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」）別の目標及び内容に基づき、全ての領域からバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る
- ・文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える
- ・短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く
- ・即興で伝え合うとともに、考えとその理由を述べ合う
- ・説明を聞いて、考えとその理由を話す
- ・問題数は17問です。

【各領域の傾向】 ◎グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・「聞くこと」の領域は、全道・全国より相当低いを示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道・全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	聞くこと	63.7%	77.6%	79.0%
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	読むこと	64.7%	58.2%	59.8%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くこと	11.7%	17.2%	19.5%
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる	書くこと	9.4%	15.6%	20.9%
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	書くこと	2.3%	6.3%	7.4%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くこと	11.7%	41.9%	17.2%	33.1%	19.5%	29.3%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号8 (2) 書くこと】 読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが大切です。指導に当たっては、教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動が考えられます。</p> <p>【問題番号9 (1) 書くこと】 疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく活用できるまでには、教師が用意した質問で言語活動を始めるのではなく、生徒自身が教師や外国語指導助手 (ALT) に質問する場面や生徒同士で質問し合う場面を設定したり、自分が質問したことを書き出して正しく書くことができているか確認したりするなど、適宜正確さを高める指導することが大切です。</p> <p>【問題番号10 書くこと】 テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことが大切です。指導に当たっては、学校生活や家庭生活における出来事について、電子メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりする文章を書く活動が考えられます。</p>

【教科 (英語) に関する意識 (生徒質問紙項目59~72, 英1, 話1より)】

<p>(59) 「英語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の49.6%、全国の51.9% に対して石狩市は、49.6%で全道と同様で、全国より2.3ポイント低くなっています。</p>
<p>(60) 「英語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の85.2%、全国の88.0% に対して石狩市は83.3% で、全道より1.9ポイント、全国より4.7ポイント低くなっています。</p>
<p>(61) 「英語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の60.8%、全国の63.9% に対して石狩市は55.7% と、全道より5.1ポイント、全国より8.2ポイント低くなっています。</p>
<p>(62) 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の85.0%、全国の87.5% に対して石狩市は82.5% で、全道より2.5ポイント低く、全国より5.0ポイント低くなっています。</p>
<p>(63) 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の33.6%、全国の36.7% に対して石狩市は31.1% で、全道より2.5ポイント、全国より5.6ポイント低くなっています。</p>
<p>(64) 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」についての肯定的な回答は、全道の26.1%、全国の30.0% に対して石狩市は21.8%と、全道より4.3ポイント、全国より8.2ポイント低くなっています。</p>
<p>(65) 「家庭学習の課題 (宿題) として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか」についての週1回以上という回答は、全道の22.3%、全国の22.9% に対して石狩市は15.8%と、全道より6.5ポイント、全国より7.1ポイント低くなっています。</p>
<p>(66) 「1・2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の77.9%、全国の78.2% に対して石狩市は76.3% と、全道より1.6ポイント、全国より1.9ポイント低くなっています。</p>
<p>(67) 「1・2年生のときに受けた授業では、英語を読んで (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の80.0%、全国の80.3% に対して石狩市は78.8% と、全道より1.2ポイント、全国より1.5ポイント低くなっています。</p>

(68)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちをなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の60.3%、全国の63.8%に対して石狩市は49.3%と、全道より11.0ポイント、全国より14.5ポイント低くなっています。</p>
(69)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の74.3%、全国の78.7%に対して石狩市は69.1%と、全道より5.2ポイント、全国より9.6ポイント低くなっています。</p>
(70)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の80.8%、全国の82.8%に対して石狩市は77.8%と、全道より3.0ポイント、全国より5.0ポイント低くなっています。</p>
(71)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の78.9%、全国の80.7%に対して石狩市は72.2%と、全道より6.7ポイント、全国より8.5ポイント低くなっています。</p>
(72)	<p>「1・2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか」について、肯定的な回答は、全道の76.9%、全国の79.3%に対して石狩市は74.0%と、全道より2.9ポイント、全国より5.3ポイント低くなっています。</p>
英(1)	<p>「今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」について、「書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ」との回答は、全道の19.2%、全国の22.2%に対して石狩市は17.2%と、全道より2.0ポイント、全国より5.0ポイント低くなっています。関連して、2問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の29.5%、全国の25.4%に対して石狩市は36.6%で、全道より7.1ポイント、全国より11.2ポイント高くなっています。</p>
話(1)	<p>「今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」について、「聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ」との回答は、全道の4.6%、全国の6.0%に対して石狩市は3.1%と、全道より1.5ポイント、全国より2.9ポイント低くなっています。</p>